

評価項目	領域	中期目標	短期目標	成果・取組指標	自 己 評 価			外 部 評 価		改 善 策
					達成状況	資料	評価	考 察	評価	
① 教育課程・学習指導	教育課程の編成・実施	知・徳・体の調和のとれた教育課程を編成する	自校の課題を明確にして教育課程を編成する	課題を明確にするための話し合いの場をもち、具体的な改善策を取り入れる	学力調査の結果をもとに、結果の考察と対応策の話し合いを行い、2学期以降の指導に生かしている。	P. 8	A	・2学期以降ではなく、次年度は全学期に生かして欲しい。	A	・今年度の取り組みを見直し、より効果的な指導方法について話し合い、年度頭より取り組む。 ・授業時数の確保については、授業の入れ替えを効果的に行い、教科間の偏りを少なくする。
			授業時数の確保に努める	各教科等の年間授業時数の標準を上回る時数を確保する	時数の確保に努め、2学期末現在、すべての学年で予定時数を超過して確保できている。	P. 9	A			
	確かな学力	児童にとって「わかりやすい授業」をめざす	指導方法の工夫改善を図る	児童アンケートで、肯定的評価80%超をめざす	A (43%) 計 93% B (50%)	P. 5; 児 アNo2	A	・児童にとって「わかりやすい授業」と「指導方法の工夫改善」は、これからも続けてほしい。	A	・児童の授業評価等を取り入れ、更に教師の指導力向上を図る。 ・言葉(漢字)、計算の小テストを継続するとともに、まとめのテストも行い、到達度を見極めながら改善を図る。
				教師の自己評価で、肯定的評価70%超をめざす	A (0%) 計 100% B (100%)	P. 7; 教 アNo1	A			
		基礎学力の定着を図る	基礎学力の基盤となる「言葉の力」や「計算力」を育てる	各学級で定期的に言葉(漢字)テストを実施し、学級平均80点超の達成をめざす	A (33%) 計 100% B (67%)	P. 7; 教 アNo2	A			
				各学級で定期的に計算テストを実施し、学級平均75点超の達成をめざす	A (57%) 計 100% B (43%)	P. 7; 教 アNo3	A			
	読書指導	読書好きな児童を育てる	児童の読書時間を確保する	朝自習の時間を活用して、朝読書を行う	A (62%) 計 100% B (38%)	P. 7; 教 アNo1	A	・児童の読書習慣が、学校だけではなく、家庭でも身に付くように取り組んでほしい。	B	・児童の読書習慣定着に向けて、学校での取り組みを更に充実させるとともに、家庭(保護者)には「家庭で20分読書週間」の働きかけ等を通して理解と協力を得る。
				家庭に呼びかけて「家庭で20分読書週間」を行う	A (31%) 計 67% B (36%)	P. 6; 保 アNo12	C			
				児童が選びやすい本の並べ方や本の紹介等を工夫する	学習に利用しやすいように、配置替えやラベルで本の種類が分かるように工夫した。		A			
	ふるさと教育	ふるさとが大好きな児童を育てる	地域の「ひと・もの・こと」を生かした教育活動を展開する	図書室利用個人カードを作り、図書館利用を奨励する	個人用のファイルを準備し、各学級担任が読書量や本の偏りなどを把握し易いようにした。		B	・地域の人材や教育資源をこれからも活用してほしい。	A	・ふるさと教育の内容を見直し、地域の人材や教育資源をどのように活用すれば、より効果的であるかを考えて計画を立て直す。
				生活科・理科・社会科・総合学習等と関連させて、地域の人材や教育資源を生かした教育活動を展開する	1～2年は地域の自然と触れ合う活動や、地域を知るために町探検を行った。又、地域講師の方に芋づる料理や自然物工作等の指導をしていただいた。3～6年は、年間を通して理科・総合学習を中心に、地域の自然の良さを理解し保護する活動を行っている。郷田地域には歴史的にも魅力的なものやことがあるので、更に学ぶ場をふやしていきたい。		B			
				地域の伝統芸能(ホーランエー・祇園太鼓)を地域の人から学ぶ	地域の方々と保護者の支援を得て、3度の発表(学習発表会、地区文化祭、郷土芸能の集い)を立派にやり遂げることができた。		A			

自己評価シート

江津市立郷田小学校

(平成18年度)

評価項目	領域	中期目標	短期目標	成果・取組指標	自己評価			外部評価		改善策
					達成状況	資料	評価	考察	評価	
② 生徒指導	生徒指導	教職員の共通理解・協力のもと、開かれた指導を行う	生徒指導委員会を定期的に関き、気になる児童等の情報を共有化し、開かれた指導を行う	教師の自己評価で、肯定的評価70%超をめざす	A (50%) B (50%) 計 100%	P. 7; 教 アNo18	A	・基本的な生活習慣は、学校内では身に付いているようだが、地域や家庭でも身に付くようにしてほしい。(特に、あいさつ、くつろえ) ・教育相談については、子ども達が相談したい時、担任だけではなく、担任以外にも気軽に相談できる体制を整えていきたい。	B	
			児童アンケートで、肯定的評価70%超をめざす	あいさつ A (78%) B (20%) 計 98%	P. 5; 児 アNo3, 4, 5, 6	A				
				言葉づかい A (44%) B (52%) 計 96%						
生活習慣の基本を押さえ、重点的な指導(あいさつ、言葉づかい、そうじ、くつろえ)を行う	保護者アンケートで、肯定的評価70%超をめざす	そうじ A (78%) B (22%) 計 100%	P. 6; 保 ア0, 11	C						
		くつろえ A (46%) B (45%) 計 91%								
合計平均 96%										
② 生徒指導	生徒指導	教職員の共通理解・協力のもと、開かれた指導を行う	生活習慣の基本を押さえ、重点的な指導(あいさつ、言葉づかい、そうじ、くつろえ)を行う	教師の自己評価で、肯定的評価70%超をめざす	あいさつ A (13%) B (58%) 計 71%	P. 7; 教 アNo7, 8, 9, 10	B	・基本的な生活習慣は、学校内では身に付いているようだが、地域や家庭でも身に付くようにしてほしい。(特に、あいさつ、くつろえ) ・教育相談については、子ども達が相談したい時、担任だけではなく、担任以外にも気軽に相談できる体制を整えていきたい。	B	
				教師の自己評価で、肯定的評価70%超をめざす	くつろえ A (10%) B (22%) 計 32%					
					あいさつ A (8%) B (77%) 計 85%	P. 7; 教 アNo7, 8, 9, 10	B			
言葉づかい A (0%) B (38%) 計 38%										
合計平均 52%										
② 生徒指導	生徒指導	教職員の共通理解・協力のもと、開かれた指導を行う	生活習慣の基本を押さえ、重点的な指導(あいさつ、言葉づかい、そうじ、くつろえ)を行う	教師の自己評価で、肯定的評価70%超をめざす	そうじ A (0%) B (77%) 計 77%	P. 7; 教 アNo7, 8, 9, 10	B	・基本的な生活習慣は、学校内では身に付いているようだが、地域や家庭でも身に付くようにしてほしい。(特に、あいさつ、くつろえ) ・教育相談については、子ども達が相談したい時、担任だけではなく、担任以外にも気軽に相談できる体制を整えていきたい。	B	
				教師の自己評価で、肯定的評価70%超をめざす	くつろえ A (8%) B (92%) 計 100%					
					あいさつ A (8%) B (77%) 計 85%	P. 7; 教 アNo7, 8, 9, 10	B			
言葉づかい A (0%) B (38%) 計 38%										
合計平均 75%										

自 己 評 価 シ ー ト

江津市立郷田小学校

(平成18年度)

評価項目	領域	中期目標	短期目標	成果・取組指標	自 己 評 価			外 部 評 価		改 善 策	
					達成状況	資料	評価	考 察	評価		
	教育相談	共感的児童理解に基づく教育相談活動を行う	教育相談週間を設けて、児童理解に努める	児童アンケートで、肯定的評価70%超をめざす	A (44%) B (52%)	計 96%	P. 5; 児 アNo7	A			
				保護者アンケートで、肯定的評価70%超をめざす	13 A (28%) B (54%) 計82%	14 A (25%) B (46%) 計71%	P. 6; 保ア No13, 1 4, 15	B			
③ 安全管理	安全対応能力の向上	危機管理体制の確立と安全意識の高揚を図り、安全で安心な学校をめざす	交通安全教室、避難訓練(火災・地震)を行う	教師の自己評価で、肯定的評価80%超をめざす	交通安全教室	A (18%) B (82%)	計100%	P. 7; 教 ア No1 6, 17	A		
					避難訓練	A (27%) B (73%)	計100%				
					合計平均	100%					
		保護者、地域、関係機関との連携を図り、不審者から児童を守る	登下校の見守り活動を行う	保護者・地域(郷田っ子見守り隊)と連携して行う	登校…保護者(PTA育成部を中心に)と教職員による街頭指導を、毎月1回(月初めの日)とあいさつ運動期間中(各学期に1回ずつ)と全国交通安全運動期間中(年2回)に行うことができた。		A	・不審者対応に一層気を配ってほしい。	B	・不審者対応訓練を、警察と連携して、夏休み前に実施したい。	
		下校…保護者と教職員と地域の郷田っ子見守り隊ボランティアの方々(22名)との3者で連携し合って児童の下校を見守ることができた。									
			不審者対応訓練を行う	警察と連携して行う	本年度は実施できなかった。			D			

評価項目	領域	中期目標	短期目標	成果・取組指標	自 己 評 価			外 部 評 価		改 善 策
					達成状況	資料	評価	考 察	評価	
④ 保健管理	学校保健	学校保健計画に基づいて、児童の自己健康管理能力の向上を図る	日常の健康観察や疾病予防等の指導を通して、児童の自己健康管理能力の向上をめざす	児童アンケートで、肯定的評価70%超をめざす	A (44%) B (52%) 計 96%	P. 5; 児 アNo8	A	・評価できない。	・子ども達自身が疾病を予防できる力を高められるように指導したい。 ・子ども達の実態がつかみやすいように、児童アンケート項目を工夫したい。	
			健康診断を効果的に実施する	健康診断の結果について年度比較等の数値化を行い、問題点をさぐる。	毎年作成している保健統計で、結果をデータ化し、児童の健康状態を把握している。	P. 10, 11	A			
		心のケアや健康相談活動を充実する	児童の心や体の健康相談ニーズに応える	児童アンケートで、肯定的評価70%超をめざす	A (44%) B (52%) 計 96%	P. 5; 児 アNo7	A			
	学校給食	学校給食の衛生管理に万全を期す	学校給食の衛生管理をマニュアルに基づき厳正に行う	衛生管理トラブル“ゼロ”をめざす	学校全体としては、給食調理員による「学校給食日常点検票」、校長による「検査簿」でチェックをし、各学級では「衛生チェック表」により給食当番の衛生管理を行い、トラブルは0(ゼロ)であった。	A	・評価できない。	・共通理解、協力体制により、これからも衛生管理トラブル“ゼロ”をめざしたい。		
⑤ 特別支援教育	校内支援体制	通常学級在籍児童で支援を必要としている児童の教育ニーズに対応した支援を行う	生徒指導職員会や校内特別支援推進委員会を活用して、児童の実態把握に努める	社会人活用学力サポート事業と連携し、対象児童の支援を行う	A (27%) B (64%) 計 91%	P. 7; 教 アNo12	A	・評価できない。	・校内特別支援推進委員会を中心に、支援を必要としている児童の把握に努め、みんなで育てていく校内体制の推進を図っていききたい。	
		特殊学級在籍児童の教育ニーズに対応した指導・支援を充実する	個別の指導計画及び教育支援計画を作成する	教師の自己評価で、肯定的評価70%超をめざす	A (43%) B (43%) 計 86%	P. 7; 教 アNo13	B			
	交流及び共同学習	交流及び共同学習を実施する	他校の特殊学級との交流学习、自校の通常学級で学ぶ機会を確保する	教師の自己評価で、肯定的評価70%超をめざす	A (67%) B (33%) 計 100%	P. 7; 教 アNo14	A	・評価できない。	・効果的な交流の在り方等について研修を深めていきたい。	
⑥ 組織運営	学校運営	適切な校務分掌により、組織的な運営を図る	校務分掌の各組織ごとに目標を設定し、達成に向けた具体的な取り組みを推進する	教師の自己評価で、肯定的評価70%超をめざす	A (8%) B (84%) 計 92%	P. 7; 教 アNo15	A	・評価できない。	・管理職と各主任との連絡調整及び全教職員による共通理解を図り、協働体制で学校運営にあたる努力を続けていきたい。	
	学級運営	学級経営の充実に努める	学級経営案を作成し、具体的な取り組みを推進する	教師の自己評価で、肯定的評価70%超をめざす	A (20%) B (80%) 計 100%	P. 7; 教 アNo4	A	・評価できない。	・学級経営案の効果的な活用を図る。	
			保護者アンケートで、肯定的評価70%超をめざす	A (29%) B (61%) 計 90%	P. 6; 保 アNo6	A				

自 己 評 価 シ ー ト

江津市立郷田小学校

(平成18年度)

評価項目	領域	中期目標	短期目標	成果・取組指標	自 己 評 価			外 部 評 価		改 善 策
					達 成 状 況	資 料	評 価	考 察	評 価	
⑦ 研修	校内研究	研究授業、教材研究を通して、授業力を高める	ふるさと教育とも連動させながら環境教育を推進する	教師の自己評価で、肯定的評価70%超をめざす 児童アンケートで、肯定的評価70%超をめざす	A (46%) B (18%) 計 64%	P. 7; 教 アNo5	C	・評価できない。	/	・各学年の環境教育の年間計画を見直し、6年間を見通した効果的な活動に精選を図っていく。
	校内研修	校内研修を通して、教師力を高める	各種研修会への参加を奨励し、校内研修に生かす	教師の自己評価で、肯定的評価70%超をめざす	A (8%) B (33%) 計 41%	P. 7; 教 アNo6	D			
⑧ 保護者、地域住民、他校との連携	情報提供	学校教育の内容や計画を情報発信する	学校だよりを発行する	保護者アンケートで、肯定的評価70%超をめざす	A (26%) B (67%) 計 93%	P. 6; 保 アNo1	A	・評価できない。	/	・子ども達を保護者とともに育てていくという姿勢を大切に、学校だより、学級だより等による情報提供に心がける。
			学級だよりを発行する	保護者アンケートで、肯定的評価70%超をめざす	A (40%) B (54%) 計 94%	P. 6; 保 アNo5	A			
	教育活動への参画及び協力	保護者や地域住民や他校との連携を図り、教育活動への参画や協力を得る	保護者（PTA）との連携を図り、学校運営に生かす	教師の自己評価で、肯定的評価70%超をめざす 保護者アンケートで、肯定的評価70%超をめざす	A (17%) B (83%) 計 100%	P. 7; 教 アNo19	A	・地域との連携をより一層、密にしてほしい。	B	・幼稚園との連携は比較的とれていたが、保育所及び中学校との連携は不足がちであった為、次年度は年度頭初から、幼・保・中との連携を計画的に行う。
			地域住民との連携を図り、学校運営に生かす	教師の自己評価で、肯定的評価70%超をめざす	A (17%) B (83%) 計 100%	P. 7; 教 アNo20	A			
幼・小・中の連携を図り、学校運営に生かす	教師の自己評価で、肯定的評価70%超をめざす	A (9%) B (64%) 計 73%	P. 7; 教 アNo21	B						

自 己 評 価 シ ー ト

江津市立郷田小学校

(平成18年度)

評価項目	領域	中期目標	短期目標	成果・取組指標	自 己 評 価			外 部 評 価		改 善 策	
					達 成 状 況	資 料	評 価	考 察	評 価		
⑨ 施設・設備	安全点検	施設・設備の安全、維持管理に努める	毎月8日を「安全の日」と設定して、安全点検を行い、未然に学校事故を防ぐ	月別単位で集計し、学校事故ゼロをめざす	毎月点検を実施し、校内の安全を確保できており、事故も0（ゼロ）であった。			A	・学校事故ゼロをこれからもめざしてほしい。	A	・安全点検後に修理した箇所等の事後処理を全教職員に知らせる工夫をしたい。
	教育環境	教育環境の整美・充実をめざす	各学級や特別教室の掲示を工夫する	児童アンケートで、肯定的評価70%超をめざす	A (50%) 計 88%	P. 5; 児アNo10	B	・古い校舎でありながら、校舎の美化によく努めている。	B	・掲示の工夫だけではなく、掲示板等の過不足を点検しながら見直していく。 ・各教室の照度不足を市教委に働きかける。	
				保護者アンケートで、肯定的評価70%超をめざす	A (32%) 計 87%	P. 6; 保アNo7	B				
			廊下・階段・昇降口の掲示を工夫する	児童アンケートで、肯定的評価70%超をめざす	A (45%) 計 81%	P. 5; 児アNo11	B				
				保護者アンケートで、肯定的評価70%超をめざす	A (16%) 計 73%	P. 6; 保アNo4	B				
			校庭・ビオトープ・花壇・校舎周辺の環境整美をする	児童アンケートで、肯定的評価70%超をめざす	A (45%) 計 81%	P. 5; 児アNo12	B				
				保護者アンケートで、肯定的評価70%超をめざす	A (25%) 計 84%	P. 6; 保アNo3	B				

※1 江津市の共通項目は、領域部分における次の4項目とする。

- ① 確かな学力の育成 ② ふるさと教育の推進 ③ 安全対応能力の向上 ④ 学校間の連携

※2 評価の観点には次の通りとする。

- A：十分達成できている（90%以上） B：おおむね達成できている（70%以上～90%未満） C：あまり達成できていない（50%以上～70%未満）
D：ほとんど達成できていない（50%未満） /：評価できない